

# ● 第19回びわ湖 国際 フルートコンクール

宮内 順子

現「びわ湖 国際フルートコンクール」は、1996年「京都芸術祭」第10回記念として創設されて以降「フルートコンクールびわ湖」、そして現在の「びわ湖 国際フルートコンクール」と内容や名称を変えながらも、滋賀県高島市のガリバーホールを会場にして、その知名度は年々上がっていき、入賞者たちは日本を代表するフルーティストとして活躍している。

このコンクールの特徴とも言えるのは、一般部門とジュニア部門の併設である。若き才能を早く発掘して未来の日本を代表するフルーティストを輩出しようという試みであろう。したがって、ジュニア部門で入賞したフルーティストたちは、数年後その才能を開花させ、一般部門で上位入賞を果たしている例が多い。

2014年に行なわれた第19回びわ湖 国際フルートコンクールは、ドイツや中国からの参加者もあり、一般・ジュニア両部門で231名の参加となった。

一般部門第1次予選の課題曲G.P.H.テレマン『12のファンタジー』は、短い楽曲でありながら、演奏者の技量、音楽観すべてがわかるという作品で、これまでもこのコンクールでは度々課題曲として取り上げられていた。他のコンクールでは以前は課題曲として取り上げられることはほとんどなかったにもかかわらず、今は課題曲に選ばれることが多いことを考えると、このコンクールの課題曲選定は最適な選択をしていると思われる。実際今回の第1次予選でも、高度な演奏が目立つようになり、演奏者の技術力も増しているように感じられた。第2次予選は近代・現代のソロ4曲から1曲とコンクールとしてはよくある選択曲での演奏だが、今回注目すべきは第3次予選の課題で、初めて自由曲をピアノと演奏する形式。

第3次予選に進んだ参加者たちが、自分の個性を発揮できる曲を選ぶようにという主宰者の意図があるのだろう。P.クファネルの『ミニヨンの主題によるグランドファンタジー』は5名が選ぶという人気曲だったが、これは華やかで、アピールのしやすさなどを考えると妥当な選択ではある。だができればもっと様々な時代や作曲家の作品が並んでいても良かったように思う。このような課題曲に備えて、コンクールの参加者たちは自分の個性を最も発揮できる作品を見つけ出すという努力が今後は必要になってくるだろう。

本選はモーツァルトのト長調の協奏曲、もしくはメルカダンの協奏曲の選択制。コンクールの本選課題曲はおしなべてモーツァルトのト長調かニ長調の協奏曲のどちらかを提示されることが多いが、選択制ということは自分の得意な作品を選ぶという利点がありながら、よりその楽曲について深く追求することを求められている。

第1位を獲得した知久翔氏は現在、パリ国立高等音楽院の院1年に在学している将来有望な奏者だ。既に国内での演奏活動も度々行っており、若手の中では知名度も抜群で、これからの活動に期待がかかる。知久氏は合わせて本選の一般来場者が

投票するオーディエンス賞も受賞している。

一般部門の結果は以下のとおり。

## 《一般部門》

- 第1位 知久翔（パリ国立高等音楽院・院1年）※オーディエンス賞  
第2位 満丸彬人（東京藝術大学大学院2年）  
第3位 中村悦子（京都市立京都堀川音楽高等学校卒業）  
入選 大久保祐奈（東京芸術大学4年）  
入選 大谷加奈（フランス地方立ルエユ＝マルメゾン音楽院卒業）※武者小路千家賞  
はるか賞 太田明香（ドイツ）

一方、ジュニア部門は第1次予選は録音審査、第2次予選からガリバーホールでの審査となった。第1次の録音審査の課題曲は、ガリボルディやケーラーなど、学習者が必ず取り上げるエチュードからとなっている。エチュードを課題曲すると技術的なレベルがわかりやすいということだろう。その審査を経て54名が第2次予選に進んだ。

第2次予選は、一般のフルートコンクールの最初の予選で取り上げられることの多いフルートソロから選択。内10名が本選へと進んだ。ジュニア部門は音大の附属高校や音楽科のある高校生が多く、幼いころからフルーティストを目指して練習に励んでいる参加者が多いことが窺える。

本選は、フルートの本領発揮と言えるフランス近代の作品の中から選択しての演奏。ジュニア部門とは言え、すでにコンクールや試験などをくぐり抜けている参加者が多く、そのレベルの高さは驚くほどだ。

## 《ジュニア部門》

- 第1位 石原怜奈（東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校3年）  
第2位 近藤 梓（国立音楽大学附属高等学校2年）  
第3位 山本 英（東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校1年）※オーディエンス賞  
奨励賞 西堀志保（兵庫県立西宮高等学校2年）  
入選 大道詠亮（東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校2年）  
入選 大熊咲良（香川県立坂出高等学校3年）  
入選 濱口美咲（檀原市立畝傍中学校3年）  
入選 高田瀬怜奈（秋田県立新屋高等学校2年）  
入選 才原美鈴（北海道・学校法人藤学園藤女子高等学校2年）  
※はるか賞  
入選 太田采里（京都市立京都堀川音楽高等学校3年）

今年2015年、20回目という区切りの年を迎える「びわ湖 国際フルートコンクール」。今年はどうな優秀なフルーティストたちが羽ばたくのか今から楽しみである。

(THE FLUTE編集長)